**《詩分科会》**一人**１**編のみです。

詩分科会提出用のひな形の用紙です。以下少々説明します。

●事務局側で添削／編集をせず、原稿をそのまま作品集に使用します。事前に生徒同士或いは顧問が、充分な校正をしてから提出してください。不具合は評価の際、減点の対象といたします。●●●までは、ひな形の書式解説及び提出前確認事項です。確認後に削除し、ファイル名には例のように2020POETRYの後に学校名(略称で可)を半角英数アルファベットで追加して提出してください。

　（例）2020POETRYtomariyakan.docx

●作品名は例のように、カギ括弧をつけず、ＭＳゴシック（ＭＳＰゴシックは使用不可）10．５ポイントを使用してください。

　作者名、学校名、学年については、略字は使わず作品名から改行後、下揃えで例のように「〜〜高校」の高校前までの正式名称に全角の算用数字で学年を記してください。

●詩については原則として行頭１マス空けなくて結構です。連の変更時は原則１行空けとし、表現・構成上上やむを得ない場合を除き２行以上空けないでください。また現在設定してある書式設定（文書のレイアウト）を変更しないでください。

（良い例）

道程

高村光太郎（沖縄文藝大学附属２年）

僕の前に道はない

僕の後ろに道はできる

ああ、自然よ

父よ

僕を一人立ちさせた広大な父よ

僕から目を離さないで守る事をせよ

常に父の気魄を僕に充たせよ

この遠い道程のため

この遠い道程のため

（悪い例）

月夜の浜辺

中原中也（首里商業３年）

（１行空け不要）

　月夜の晩に、ボタンが一つ（＝×１マス空け不要）

　波打際に、落ちていた。（＝×行間設定は変更不可）

　それを拾って、役立てようと

　僕は思ったわけでもないが

　なぜだかそれを捨てるに忍びず

　僕はそれを、袂に入れた。

　月夜の晩に、ボタンが一つ

　波打際に、落ちていた。

＝×（２行空けＮＧ）

　それを拾って、役立てようと

　僕は思ったわけでもないが

　月に向ってそれはれず

　浪に向ってそれは抛れず

　僕はそれを、袂に入れた。

＝×（２行空けＮＧ）

　月夜の晩に、拾ったボタンは

　指先に沁み、心に沁みた。

　月夜の晩に、拾ったボタンは

　どうしてそれが、捨てられようか？

●アルファベット表記については、作品名や、日本語として馴染んでいることばの場合は全角で、文中の場合には半角英数で表記してください。散文の表記に準じます。

●提出に際しては以下の例に倣って詩の作品のみを提出してください。

（提出例）

道程（＝番号等は振らないでください）

高村光太郎（沖縄文藝大学附属２年）

僕の前に道はない（以下略）

この遠い道程のため

【次の作品との間は一行空けてください】

でぶ

井上耕路（沖縄文藝大学附属２年）

私はでぶだ。

でぶはでぶなりに、

でぶではなくなるように願い続けている。

【一行空けてください】

（以下繰り返しです）

★疑問点は文芸・図書専門部事務局　島袋（那覇国際高校）に

お問い合わせください。電話（０９８・８６０・５９３１）

[メールshmbkrky@open.ed.jp](mailto:メールshmbkrky@open.ed.jp)

（提出内容を確認後、●●●までを削除して提出してください）●●●改ページしてあります。次ページからどうぞ。